# 令和8年度　事 業 実 施 報 告 書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

| 事業名（個別メニュー） | 第5回北陸橋梁保全会議 | 事業経緯 | 継　続 | 実施体制 | 実行委員会 | 担当所属 | 企画事業部 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業名（大項目） | 調査研究及び研究助成事業 | 分類名（中項目） | 技術開発支援事業 | | | 事業区分 | 技術開発、研究開発 |

## 1．事業目的

本事業は、北陸地方における橋梁保全技術の発展と意識の高揚を図り、橋梁に関する諸問題に対し産学管が連携して技術を研鑽し、国土の安全・安心に寄与するものである。

## 2．事業実施体制

主 催：北陸橋梁保全会議実行委員会

国土交通省北陸地方整備局、新潟県土木部、富山県土木部、石川県土木部、
新潟市土木部、東日本高速道路（株）新潟支社、中日本高速道路（株）金沢支社、
（一財）新潟県建設技術センター、（公財）富山県建設技術センター、
（一財）橋梁調査会、（一財）土木研究センター、（一社）北陸地域づくり協会、
（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部、（一社）日本橋梁建設協会、
（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会

## 3．事業実施概要

日 時：令和8年9月10日（木） 13:00～17:30
～9月11日（金） 8:45～12:00
場 所：新潟グランドホテル
プログラム：
・開閉会式
・基調講演「アセットマネジメントの成熟度向上を目指して」
講師：小澤 一雅（政策研究大学院大学 特別教授/土木学会 会長）
・報文発表
5テーマ45編の発表
・パネルディスカッション
「社会とつくる橋の未来：データと技術がひらく新しい保全のかたち」
座長：丸山 久一（長岡技術科学大学 名誉教授）
パネリスト：北陸地方整備局道路部、新潟市土木部、
日本橋梁建設協会、プレストレスト・コンクリート建設業協会、
（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部　等6名
・技術展示 31ブース
参加者：のべ1,080名

## 4．事業実施による効果（評価・貢献度等）

わが国の道路橋は、高度経済成長期に集中して建設されたことから、今後、老朽化が急速に進展されることが懸念されている。高齢化する道路橋を適時・適切に維持管理していくため、定期点検結果に基づく「橋梁長寿命化修繕計画」により、限られた予算の中で予防保全的な維持管理を目指している。

日本海に面する北陸地方は、疲労のほか地域特有の冬季風浪や凍結防止剤散布による塩害・腐食、アルカリ骨材反応による著しい損傷等に関して、各所で様々な取り組みが行われている。橋梁保全に関し蓄積してきた技術・技能の継承・研鑽を図るとともに新技術の開発、より一層の品質確保・信頼性向上を目指し、優れた橋梁保全技術を次世代へ伝承していくことが重要となっている。

このような情勢の中、第5回目として開催されたもので、橋梁保全の重要性の啓発を得た。



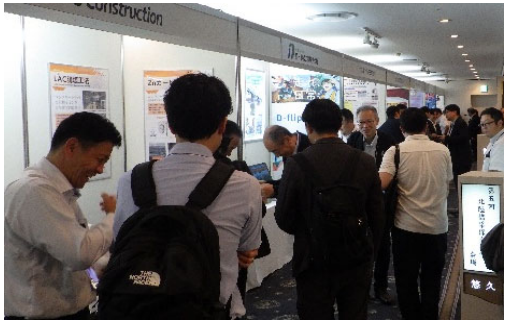
基調講演




パネルディスカッション



報文発表



技術展示